

## 2022 年度 FD・SD 研修

### マクロレベル FD・SD 研修実施報告書

群馬医療福祉大学 FD・SD委員会  
大久保 圭介

〈研修実施日時〉	2023 年 1 月 6 日(木)14:10~16:30
〈会 場〉	群馬医療福祉大学前橋キャンパス 大講義室
〈参加者〉	
・対象教職員	171名(全171名中)(出席率89.5%)
・非常勤講師	5名

#### (1) 概要

本学における人事考課制度導入に先立ち、全学的な共通理解を深めるために全体研修を実施する運びとなった。

そこで、しののめ信用金庫人事部副部長長坂健司様らをお招きし、先行する人事考課に関する取り組みを詳しくご紹介いただき、今後を展望していく機会となった。

後半は平形和久内部監査室長から、本学における「人事考課の策定経緯について」の見通しが説明された。

講師 長坂 健司様

しののめ信用金庫人事部 副部長 の略歴が届きました。

よろしくお願いいたします。



#### 【略歴】

1996（平成8）年4月、かんら信用金庫（現しののめ信用金庫）入庫  
本店営業部、井野支店、人事部、井野支店、総務部を経て、  
2019（平成31）年4月より人事部に所属し、現在に至る

## (2) 内容・所感講

・以下、受講後に寄せられた声の一部を掲載する。

・人事考課導入の背景には、文科省等外部からの要請と教職員をはじめとした成長への好循環が期待されていることがよくわかりました。正確な人事考課というものは一朝一夕にはいかなくても、しのため銀行様のこれまでの取り組み、そして直近の改正など先行するお話を聞くことができてさまざまに学ばせて頂きました。

・人事考課を行う目的・意義・活用について詳しく知ることができました。人事考課とは職務の遂行度・業績や能力を評価し処遇に格差をつけることのみが目的ではなく、

職員の評価すべき点を見つけそこに光を当てる為のものでもあること。人材育成・勤労意欲の高揚は職員及び組織の持続的発展と成長につながる。人事考課の為の職員との接触はコミュニケーション促進につながる。果たすべき役割の達成度を評価すること。主に以上のことを学びました。また人事考課制度を適正に行うことは、学生により良い教育を提供することや、本学の発展に繋がることも学ぶことができました。

・人事考課による評価結果は昇給や賞与の決定基準として、人材の公正な処遇や適切な配置（異動、昇進など）の実現のために活用される。職員と組織を成長させる仕組みであることが理解できた。評価は相手を陥れてへこませるものではなく、一歩前に進ませ成長させることが本質である。社会人としての自身の役割遂行とその評価について考えることができたと同時に、学生が自己肯定感や意欲を向上できるような指導を私自身はできているか内省した。的確な評価ができるよう自身の能力を磨いていきたい。

・今回の研修を通して、「人事考課」の基本事項を全体で共有するとともに、この制度導入が教職員の適切な評価を可能にしていくことで、内省とさらなる自己研鑽を促進し、ひいては本学における教育の質の向上につなげていきたい。

